

## 国際健康福祉実習（ハワイ）を通して得た学び

今回の国際健康福祉実習では、ハワイという多文化社会の中で生活しながら、地域社会における福祉の取り組みや人々の価値観について学ぶことができた。本実習では、福祉施設の見学やボランティア活動、現地大学での講義への参加、学生との交流、文化体験など、さまざまな活動を通して多くの学びを得ることができた。特に印象に残っているのは、ハワイにおけるホームレス問題への取り組みと、人々の温かいコミュニケーションのあり方である。

まず、福祉の学びとして特に印象的だったのは、ハワイにおけるホームレス支援の現場を見学した経験である。ハワイは世界的に有名な観光地であり、美しい自然やリゾートのイメージが強い。しかし実際には、住宅価格の高騰や生活費の高さなどの影響により、ホームレス問題が深刻な社会課題となっていることを知った。実習では、ホームレス支援を行う施設の見学や配食ボランティアに参加する機会があり、支援を必要としている人々と直接関わる経験をすることができた。

配食ボランティアでは、食を手渡すだけでなく、支援を受ける人々に声をかけたり、短い会話を交わしたりする場面もあった。最初はどのように接すればよいのか戸惑いもあったが、相手の目を見て挨拶をすることや、一人の人として尊重して関わることの大切さを感じた。この経験を通して、福祉とは単に物資や制度によって支えるだけでなく、人と人との関わりや尊重の気持ちによって成り立っているものだと実感した。

また、低所得者が生活する居住施設の見学も行った。そこでは、施設に住む人々が施設内で働くことのできる仕組みが整えられており、売店などの仕事を通して収入を得ながら生活を維持できるようになっていた。このような取り組みは、単に生活を保護するだけでなく、生活の再建や自立を支える支援として非常に重要なものであると感じた。こうした支援の在り方は、日本の福祉について考えるうえでも大きな示唆を与えてくれるものであった。

さらに、現地大学での講義やワークショップでは、ハワイの学生と交流する機会もあった。授業では「家族とは何か」というテーマについて考える活動があり、雑誌などから写真や言葉を切り抜いてコラージュを作成し、それぞれの家族のイメージを共有した。この活動を通して、家族の形や価値観は文化によってさまざまであることを実感した。日本では血縁関係を中心に家族を考えることが多いが、現地の学生の中には友人や地域の人々を家族のような存在として表現する人もおり、人とのつながりの捉え方の違いを知ることができた。このような交流を通して、異なる文化や価値観を理解しようとする姿勢の大切さを学ぶことができた。

また、今回の実習を通して特に印象に残ったのは、ハワイの人々の明るさや親しみやすさである。街を歩いていると、すれ違った人が自然に声をかけてくれたり、笑顔で挨拶をしてくれたりする場面が多くあった。日本では知らない人同士が会話をする機会はあまり多くないが、ハワイでは人と人との距離が近く、コミュニケーションが自然に生まれているように感じた。このような日常の小さなやり取りが、人と人とのつながりを生み、地域社会の温かい雰囲気を作っているのではないかと思った。

また、今回の実習では福祉の学びだけでなく、ハワイの文化や地域社会について理解を深める機会も多くあった。フラやカヌー体験では、単なるスポーツやパフォーマンスとしてではなく、ハワイの歴史や文化と深く結びついたものであることを学んだ。フラはハワイの歴史や自然などを表現する伝統文化であり、動き一つ一つに意味が込められていることを知った。また、カヌーはかつて人々の移動や生活を支えていた重要な文化であり、仲間と協力しながら漕ぐことでチームワークの大切さも感じることもできた。こうした体験を通して、文化は人々の生活や価値観と密接に結びついているものであると実感した。

さらに、ポリネシアンカルチャーセンターを訪れた際には、ハワイを含むポリネシア地域の歴史や文化について学ぶことができた。それぞれの地域には異なる文化や伝統がありながらも、人々の生活の中で自然を大切にし、コミュニティとのつながりを重視する価値観が共通していることが印象的であった。

また、KCC ファーマーズマーケットでは、地域の人々が集まり、地元の食材や料理を楽

しむ様子を見ることができた。そこでは観光客だけでなく多くの地元の人々も訪れており、地域のコミュニティとしての役割も果たしているように感じられた。地元の農産物や手作りの食品を販売する人々の姿から、地域の資源を生かした暮らしや、人と人とのつながりを大切にする文化を感じることができた。

さらに、ダイヤモンドヘッドやマカプウでのトレッキング、ボディボードなどの自然体験も印象に残っている。ハワイの自然は非常に美しく、海や山、広い空などの景色に触れる中で、日常の悩みや小さな不安が少し軽く感じられるような感覚を覚えた。自然の中で過ごす時間は心を落ち着かせ、人の心身の健康にも良い影響を与えるのではないかと感じた。

今回の実習を通して、福祉とは制度や支援だけで成り立つものではなく、人と人との関係や地域社会のつながりの中で成り立っているものであると実感した。また、異なる文化の中で生活することで、自分の価値観や考え方を見つめ直す機会にもなった。ハワイで出会った人々の明るさや温かさ、そして地域社会の支え合いの姿は、今後自分が人と関わる仕事を考えるうえでも大きな学びとなった。今回の留学で得た経験や気づきを、今後の学修や将来の進路にも生かし、人と関わる仕事を指すうえで大切にしていきたいと考えている。